

令和8年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

呉市立蒲刈中学校
(蒲刈中学校区)

全国平均値との差

	国語	数学
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0
令和8年度	+4.1	+1.0
令和7年度	-1.3	-8.3
令和6年度	+5.9	-12.5
令和5年度	+2.2	-7.0
令和4年度	+4.0	-2.4

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎・・・各学校 ◇・・・中学校区

国語 本校 68 % 全国 63.9% 県 64 %	重点課題	◎◇目的に応じて必要な情報を見付け、その情報と他の情報との関係の表し方を理解し使うことに課題がある。【情報の扱い方に関する事項】 (「情報の扱い方に関する事項」及び設問2三の正答率50.0%) (全国平均との差-20.4pt)
	改善の方策	◎◇複数の情報が示された図表やスライド等の資料を読み解く際、共通点や相違点を意識しながら図や線などを用いて情報を整理させ、その根拠を言葉で説明し合う場を設定する。
	検証	◎◇取組後に確認問題(全国学力・学習状況調査[設問2三]の類似問題)を実施 (第3学年:9月、第1・2学年:11月) 目標80%→結果 %
数学 本校 58 % 全国 57.0% 県 57 %	重点課題	◎データの傾向を読み取り、批判的に考察し判断することに課題がある。【データの活用】 (「データの活用」の領域別平均正答率37.5%)(全国平均との差-16.0pt) (設問9(3)の正答率25.0%)(全国平均との差-6.9pt) ◇二次元の表を用いて情報を整理したり、読み取ったりすることに課題がある。【データの活用】 (「データの活用」の領域別平均正答率37.5%)(全国平均との差-16.0pt) (設問5の正答率25.0%)(全国平均との差-35.2pt)
	改善の方策	◎複数のデータを比較する際、グラフの「形」や「位置」などの視覚的特徴に着目して分布の傾向を捉えさせ、「判断の根拠」と「結論」を数学的な言葉を用いて論理的に説明する指導を全学年で徹底する。 ◇情報を分類・整理する際、二次元の表や樹形図の有用性を実感させ、それぞれがどのような事象やデータを表しているか説明し合う場を設定する。
	検証	◎取組後に確認問題(全国学力・学習状況調査[設問9]の類似問題)を実施 (第3学年:9月、第1・2学年:2月) 目標50%→結果 % ◇取組後に確認問題(全国学力・学習状況調査[設問5]の類似問題)を実施 (第3学年:9月、第2学年:2月) 目標70%→結果 %

【来年度に向けて】